

番号	3 - 35	申請者	麻酔科医師 大友 純
<p>【審査申請課題】 肩関節鏡下腱板修復術の術後痛に対する腕神経叢ブロックのデキサメタゾン添加の効果の検討</p>			
<p>【審査課題の概要】 肩腱板断裂に対する肩関節鏡下腱板修復術では腱板を強固に牽引し肩関節の関節中心が変化することで術後早期から激しい痛みが出現する。当院では術後痛軽減のため、全身麻酔導入前に斜角筋間腕神経叢ブロック (interscalene brachial plexus block: ISBPB) を行っているが、局所麻酔単独では持続時間が短く術後にフェンタニル持続静注を行うため嘔気・嘔吐を来すことも多く患者のQOLを損ねることも多かった。近年、ISBPBに使用する局所麻酔薬にデキサメタゾンを添加することで術後の鎮痛効果が延長するとの報告もあり当院でもコントロール不良の糖尿病を合併していない症例ではデキサメタゾン添加局所麻酔薬でISBPBを行っており、デキサメタゾン添加ISBPBの術後痛の軽減効果について後ろ向きに検討を行うこととする。</p>			
審査結果	承認 (令和3年12月1日)		